



ずいぶん暖かな陽気になってまいりました。寒い冬を乗り越え、春の訪れを感じます。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校教育に、ご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

集団登校では、班長が次の学年へと交代しました。6年生も一番後ろから見守りながら登校していましたが、その6年生も卒業しました。在校生は、これからも毎朝元気に安全に登校してほしいと思います。

子供たちは、友と共に学習に励み、学校生活を楽しみ、修了式を迎えることができました。子供たちが頑張ったことが一番ですが、保護者の皆様の支えがあったからこそだと思います。感謝申し上げます。

4月から、学年があがり、スタートします。今後も、子供たちは、今年頑張ったことをもっと伸ばしたり、できなかったことに再度チャレンジしたり、目標をもって頑張ってくれることを期待しています。

卒業式 6年生 立派に羽ばたきました

3月14日、令和5年度徳島市国府小学校の卒業式が挙行されました。登校した6年生は、卒業を祝い飾られた教室で、思い出をいろいろと語り合っていました。

厳粛な中にも和やかな雰囲気の中で卒業式は行われました。一人一人が卒業証書を受け取ったときの態度は堂々としてとても立派でした。

別れの言葉は、自分たちの思いを、先生方へ、家族へ、小学校へと伝え、中学校へ羽ばたく決心を全員で述べました。とても、格好よかったです。

その後、門出に臨みました。来賓・教職員に見送られ、6年生は晴れやかに前庭を歩き、国府小学校を羽ばたいていきました。

中学校での活躍をお祈りしています。応援しています。



「出逢い」

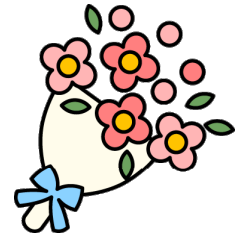
関 洋子

あなたに出逢えてよかった
しみじみとそうおもう
あなたに出逢えてよかった

ありがとう
ありがとう

すべてのふりかえる道が
この道へ続いていたとおもえる日は
こころが なんとでもくりかえす

ありがとう
ありがとう



『教室で読みたい詩』12ヶ月 小学校5・6年
水内喜久雄編著 民衆社



いつも卒業式を終えた後、「出会い」の詩を思い出します。私自身の今までの「出会い」と「別れ」も、「今日のこの日のために」あったのだろうと思いを深くします。多くの「別れ」の場面と同時に、たくさんの人との「いい出会い」がありました。本当に恵まれていると思っています。なかなか適切な言葉が思いつきませんが、私も感謝の気持ちで一杯です。

また、今日という「別れ」を受け入れていると、次の「新たな出会い」が始まるような気もしています。そして、誰かの支えがあると、再び次の道をしっかりと歩むことができるのではないかとも思っています…。

最後に、思春期を迎え不安の多い卒業生に、『必ずあなたのことを分かってくれる人がいる。あるがままの自分でOKだ。』と、自分の行く道を信じて、力強く歩んでくれることを心から願っています。



らよっと一言

「離任式」には、それまでいた環境や仲間とも別れ、全く新しい出会いが始まるための儀式として、大切な意味があると思います。今までの自分と一旦お別れしたり、立ち止まって振り返るための「区切り・節目」だと思っています。本年度も、転出したり、退職したりする教職員がいます。子どもたちと異動・退職する教職員とお別れの会は、毎年のことですが寂しく思います。本年度一緒に働いた教職員は私の誇りです。一緒に頑張ってきた仲間との別れは、本当に辛いことです。

私は、先輩教員に「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を餞にいただいたことがあります。その言葉をずっと、心に刻み毎日取り組んでいます。卒業生も在校生も、また、異動・退職する者も国府小学校で勤務する者にも、この言葉を贈りたいと思います。それぞれの居場所で、自らが咲く努力をし、次に咲く花が今より大きく、美しいものになるように、努力し活躍していくことと信じています。



こくフクロウ

私事で恐縮ですが、この三月をもって退職することになりました。

保護者の皆様には、永きにわたりご厚情をいただき誠にありがとうございました。今日という日を迎えられたことを心から感謝しています。新任時に勤務した国府小学校で退職時にも勤務できたことを、とても嬉しく思っています。本当にありがとうございました。

文責 宮内 初恵

